

## 2021 年度第 20 回理事会 議事要旨

- 1 開催日時 令和 4 年 9 月 23 日（金） 12：00
- 1 開催場所 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2  
Japan Sport Olympic Square 会議室 3
- 1 理事総数 19 名
- 1 出席理事 16 名  
武井 壮、青木 雄介、浅井 直樹、飯田 徳光、小笠原 悦子、岡本 純典、  
蕭 敬如、末松 英司、菅原 智恵子、杉山 文野、辻村 眞一郎、  
鳥山 聡子、村上 幸生、諸江 克昭、横井 浩治、米田 恵美
- 1 出席監事 2 名  
清水 至、中村 規代実

### 【審議事項】

第 1 号議案 高円宮杯開催の件 (提案者) 理事 辻村眞一郎

議長は、上記議案について辻村理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、下記のとおり全会一致で承認可決された。審議の経過は以下のとおりである。

質問：財源はどうなるのか。不足した場合はどうなるのか。

回答：過去は自己財源により負担していた。

回答：これまでは開催することが前提であった。特に自己財源を使うということについて議論はなかった。

質問：正味財産を取り崩して問題はないのか。

回答：現在決算の作業中であり不明である。

意見：過去の大会では、特に開催するかしないかの議論はなく開催するものだと考える。

意見：準備、運営の体制強化が必要である。

意見：早急に実行委員会を立ちあげたい。

意見：体制が構築できることが確認できたところで実際に進めていただきたい。できるだけ今月中に進めていただきたい。寄付についても進めていただきたい。

質問：寄付についての依頼文は誰の名前になるのか。

回答：協会へのリスクを考え、専務理事名等を考えたい。

第 2 号議案 JOC エリートアカデミー第 16 期生推薦者対応の件 (提案者) 理事 青木雄介

議長は、上記議案について青木理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、下記のとおり全会一致で承認可決された。審議の経過は以下のとおりである。

質問：コーチはどのようになっているのか。

回答：エリートアカデミー担当のコーチを設定している。これまで男性コーチであったが、今後は女性コーチを配置することを検討したい。

質問：戦績はどうか。

回答：現在まだそれほど高い戦績ではないが、高いポテンシャルを有していると判断している。

第 3 号議案 選手選考方法の変更の件 (提案者) 理事 飯田徳光

議長は、上記議案について飯田理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、差し戻しすることになった。審議の経過は以下のとおりである。

質問：最大6試合とはどういうことか。

回答：全8試合のうち、ポイントの高い6試合の結果をカウントするということである。

質問：事前に調整をした内容と異なるのではないか。

回答：変更によって不利益を被る選手がでる可能性がある場合には、その変更はしないこととした。  
ランキングマッチがスタートしており、途中で大きな変更をすべきではないと考える。

意見：意見の不一致があるので、差し戻しなのではないか。再検討、調整をしていただきたい。

意見：選手選考にあたってマーケティングの観点も必要ではないか。

意見：まずは、両方でコンセンサスをとっていただきたい。

質問：現時点で認識が合っているのは、「8大会中6大会」ということか。

意見：あらためて認識合わせをしていただきたい。文書としてまとめて理事会で再審議したい。

意見：意思決定プロセスとして、意見を聴きながらも、最終的には選手選考委員会がルールをまとめるということと理解している。コーチ、選手にはこのことを理解していただくようにしていただきたい。

#### 【報告事項】

- 1 2023年度全日本個人戦開催地について (提案者) 理事 辻村眞一郎
- 2 生涯スポーツ功労者表彰について (提案者) 理事 村上幸生